

製造業向けの営業を強化

「25年の崖」でシステムを提案

「Factory-ONE 電脳工場」

三菱電機(株)の連結子会社で、システム開発業の(株)ビーシーシー(福山市光南町3-6-10、金川仁士社長、電084・921・2475)は、製造業者に向け、生産管理システムのリニューアルの提案を進めている。既存システムの老朽化や古いシステムを扱える人材が退職して、最大で年

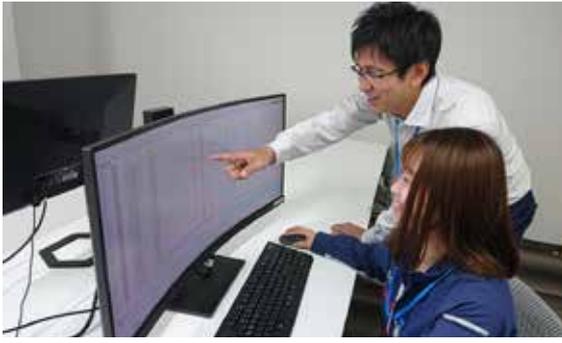
12兆円の経済損失が出る懸念の「2025年の崖」を控え、営業を活発化。人手不足の中、省力化ができる

と提案を急いでいる。

2025年の崖ではOSの「Windows10」のサポート期間が終了することも懸念材料とされ、ビーシーシーでは、中小企業向け生産管理開発業大手の(株)エクス(大阪府)の「Factory-ONE 電脳工場」を提案。システムでは得意先からの見込み生産であれば、在庫確保や部材発注などを自動計算するほか、受注生産では原価管理を簡素化。顧客ごとにカスタマイズ化することで事務負担を減らす。

ビーシーシーは、大手製造業者のシステム開発でも「Factory-ONE 電脳工場」で業務効率化を手掛けており、そのノウハウを生かす。シ

システムを導入した会社



システムは従業員20人規模の製造業者であれば導入費は1千万円から。25年の崖を控え、27年までの更新を提案する。

同社は「人手不足が深刻化する中、作業負担を減らす社内DXとしてFactory-ONE 電脳工場を提案したい」と話した。